

# 日本ケーブルラボ運用仕様動作確認一覧 HE ブロードネットマックス

2008/6/16 現在  
日本ケーブルラボ

:相互接続テストにて確認 :認定テストにて確認

型番	名称	運用仕様		
1200-BSTM-M 1200-BSTM-Q	ヘッドエンドシステム	SPEC-001	BSデジタル放送トランスモジュレーション運用仕様	1.0版
		SPEC-001-02	BSデジタル放送トランスモジュレーション運用仕様(ダウンロード機能運用仕様)	1.0版
1200-TMCA	視聴制御装置	SPEC-001-01	BSデジタル放送トランスモジュレーション運用仕様(不正使用防止機能詳細仕様)	1.0版
1500-C110-D	ヘッドエンドシステム	SPEC-002	東経110度CSデジタル放送トランスモジュレーション運用仕様	1.0版
3000-RMUX-M	MUXサブシステム	SPEC-003	デジタル放送リマックス運用仕様(自主放送)	1.0版
3000-RMUX-S	SI/EPGサブシステム			
DTM-1901	PSI変換サブシステム	SPEC-004	デジタル放送リマックス運用仕様(i-HITS)	1.0版
DTM-1901	JC-HITS-TM装置	SPEC-005	JC-HITSトランスモジュレーション運用仕様	1.0版
8553	OFDM-SP装置(同一周波数/周波数変換)	SPEC-006	地上デジタルテレビジョン放送パススルー運用仕様	1.0版
DTM-1701	地上デジタルTMヘッドエンド	SPEC-007	地上デジタルテレビジョン放送トランスモジュレーション運用仕様	1.0版
TMS-1101	MIB情報収集装置	SPEC-011-01	デジタルケーブルテレビ双方向運用仕様(保守運用・PPV・WEB)	1.0版
DCM-2901	PSI変換サブシステム	SPEC-004	デジタル放送リマックス運用仕様(i-HITS)	2.0版
DME-2500	CATVデジタルHE多重化装置	SPEC-006	地上デジタルテレビジョン放送パススルー運用仕様	2.0版
		SPEC-007	地上デジタルテレビジョン放送トランスモジュレーション運用仕様	2.0版